



幸手市立八代小学校 学力保障グランドデザイン

幸手市の到達指針

【全国学調】

●平均正答率

【埼玉県学調】

●学習方略・非認知能力の平均値

●学力が伸びた児童生徒の割合

本校の学力の現状と考察

現状

考察

①R6全国学調（平均正答率）
国・算ともに全国を大きく上
回っている

②埼玉県学調

○学力の伸びの割合

(1) 2教科

5, 6学年とも伸びが小さい

(2) 県との比較

小5, 6とも伸びに個人差が
みられる。教科で比較すると
算数よりも国語に課題がみら
れる。特に読解力や語彙力に
課題がみられる。

③幸手市統一学力調査

(1) (平均正答率) 全国と
の比較では国・算とも全学年
上回っている。

(2) (達成率) 市との比較
低学年で課題がみられる。

・昨年度末から直前まで
の学び直しの徹底が結
果として表れたと考察
する。

・伸びの割合が鈍化して
いる。問題の的確な読
み取りが課題である。

・国語の問題で複数の資
料の読み取りをした後
判断するといった読解
力が課題となっている。
どこで躓いているかの
的確な把握と自ら学ぶ
姿勢を育成する必要が
ある。

・正答率は全国を上回っ
ているが、達成率でみ
ると低学年に課題があ
り、学力の2極化がその
要因の1つと考察する。
きめ細やかな個別指導
が必要である。

互いのよさを認め合い、自分の力で未来を切り拓く児童を育みます

学校全体での取組



✿ 真剣・集中の姿の継承

- 学習規律の浸透
 - ・あいさつ、返事、姿勢、腰立ての姿勢

✿ 日課表に位置づけた基礎・基本の定着に 向けた取組

- 業前15分間
 - ・読書タイム【読書量の確保】
 - ・スキルアップタイム（国語、算数を中心とした基礎基本問題の取組、ICTスキルの向上【学力向上】）
 - ・チャレンジタイム【体力向上】

✿ 漢字トライの実施（各学期）

- ・漢字のまとめテストを業前等に実施し、満点をとった児童を校長が表彰（表彰シール）する。
【学力・学習意欲の向上】

落ち着いた 学級づくり



✿ いじめの防止・根絶、積極的な生徒指導

- ・ロールモデルとしての高学児童の育成（褒めて伸ばす）
 - ・基本的な生活習慣の確立（毎月の生活目標）
- ・いじめ防止基本方針の周知・徹底
- ・オモダカ、ルピナスコーナーの活用

✿ 自己有用感、自己肯定感の醸成

- ・体験活動の充実（自然体験、農業体験、社会体験等）
- ・読書活動の推進（朝読書、読み聞かせ、おはなし会等）
- ・異年齢交流活動（縦割り活動）の取組（毎月）

✿ 誰一人取り残さないための児童理解と教育相談 体制

- ・全教職員で全児童を支援するための情報・手立ての共有（毎週）
- ・SSRの効果的な活用
- ・学校生活アンケートの活用（毎学期）

学びを深める 授業づくり



✿ 一人一人を確実に伸ばす授業実践の積み重ね

- ・個別最適化の学習の実践
- ・ICTを活用した分かりやすい授業の展開
- ・「幸手市スタンダード授業」の実践（課題の明確化と振り返りの徹底）
- ・授業時数特例校の指定による表現力、課題解決能力の育成

✿ 市教委と連携した学力向上プロジェクト

- ・幸手市統一学力調査、確認テストの結果分析を踏まえた授業改善及び個別支援の実施
- ・全国学調、県学調の分析による求められる育成すべき力の確認

✿ 校内研修の充実

- ・読解力・語彙力・書く力の育成を重視した国語科の指導法の工夫・改善

学校間連携・ 家庭連携



✿ 家庭学習（宿題・自主学習）の習慣づけ

- ・家庭学習の充実（ドリルノート、AIノートの活用）

✿ 「8つの種（学校・家庭・地域共同指導指標）」に よる児童への働きかけ

- ・安心して学びに取り組める学校・家庭・地域環境の共有

✿ タブレット端末利用の充実

- ・家庭における適切な管理依頼（毎日の持ち帰り、充電、通信環境、破損防止等）
- ・家庭学習における個別最適化学び
- ・やむを得ず登校できない児童に対するオンライン授業の配信

✿ 東中学校区学力向上への取組

- ・生徒指導、教育相談関係の地域も含めた児童生徒に関する情報の共有